



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社農業総合研究所 上場取引所 東
コード番号 3541 URL <https://www.nousouken.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 及川 智正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂本 大輔 TEL 03-6417-1047
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	1,670	17.6	34	△34.9	34	△35.7	29	△25.1
2023年8月期第1四半期	1,420	8.4	52	—	53	—	38	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	1.32	—
2023年8月期第1四半期	1.77	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	2,552	952	37.3
2023年8月期	2,418	923	38.2

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 952百万円 2023年8月期 923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年8月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（％表示は対前期増減率）

	営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	50	36.9	50	7.0
	～100	173.8	～100	113.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。2024年8月期の個別業績予想についてはレンジ形式により開示しております。詳細は添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	22,025,900株	2023年8月期	22,025,900株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	3,971株	2023年8月期	3,970株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	22,021,930株	2023年8月期1Q	22,023,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料（P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」）に記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

近年の全国農業総産出額は、米、野菜、肉用牛等における需要に応じた生産の取組等により、9兆円前後で推移しております。2021年の農業総産出額は、肉用牛の輸出増加や需要回復、鳥インフルエンザによる鶏卵価格の高騰が見られた一方、米の民間在庫量が高い水準で推移したことや野菜が出荷量増加により安値となったこと等から、前年に比べ986億円減少し、8兆8,384億円となりました(出典:農林水産省「生産農業所得統計」)。他方で、2023年2月時点の農業経営体数92万9千経営体のうち、個人経営体は88万8千経営体で、前年に比べ5.0%減少した一方、団体経営体は4万経営体で1.5%増加しております(出典:農林水産省「農業構造動態調査」)。農業経営体の減少が続く中、法人化や規模拡大の進展が継続し、農業集約化の動きも加速するものと予想されます。

当第1四半期累計期間における青果価格は、猛暑や天候不順の影響により、平年に比べ高い水準で推移してまいりました。一方、当第1四半期累計期間におけるスーパーマーケットにおける青果物の需要は、内食需要の低下や食料品等の相次ぐ値上げ等により低水準が続いているものの、相場高の影響により単価が上昇し、青果物の販売動向は前年に比べ増加いたしました。

このような環境のもと、より多くの生活者に「おいしい」をお届けするために、当社の主たる事業である農家の直売所事業及び成長事業である産直卸事業を推進いたしました。前事業年度に締結いたしましたハウス食品グループ本社株式会社とのアライアンスを継続するとともに、ドラッグストアへの販路拡大等、新しい農産物流通の創造に向けた取組の深化を進めてまいりました。各種値上げ等のコスト増が見込まれる環境においても利益が確保できるよう、流通総額の拡大とともに手数料等の改定を行い、事業基盤の強化に努めました。

このような取組みの結果、流通総額は3,804,819千円(前年同四半期比11.0%増)、2023年11月末日時点でスーパーマーケット等の国内小売店への導入店舗数は2,013店舗(前事業年度末より18店舗増)、農産物の集荷拠点である集荷場は91拠点(前事業年度末より1拠点減)、登録生産者は10,435名(前事業年度末より57名増)となりました。

当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,670,784千円(前年同四半期比17.6%増)、営業利益は34,326千円(前年同四半期比34.9%減)、経常利益は34,733千円(前年同四半期比35.7%減)、四半期純利益は29,151千円(前年同四半期比25.1%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①農家の直売所事業

農家の直売所事業では、当社及び業務委託先が運営する集荷場で登録いただいた生産者から農産物を出荷し、原則翌日にスーパー等の「産直コーナー」で販売する独自の流通プラットフォームを提供しております。

当第1四半期累計期間は、既存委託販売先との取引維持・拡大に加え、登録生産者獲得のため、集荷場を拠点とした営業活動を行ってまいりました。また、スーパーでの品揃えを実現するため、品目バランスを考慮した買取委託の増加や兵庫の集荷場における登録生産者からいただく出荷手数料の改定等、事業基盤の強化に努めました。

これにより、流通総額は3,274,347千円(前年同四半期比8.2%増)、流通点数は15,175千点(前年同四半期比5.3%減)、売上高は1,146,910千円(前年同四半期比12.5%増)、セグメント利益は175,059千円(前年同四半期比15.9%減)となりました。

②産直卸事業

産直卸事業では、当社が生産者から直接農産物を買取り、商品の「パッケージ」、売場の「POP」、生産者のおすすめ「レシピ」などで商品の付加価値を可視化し、スーパー等の通常の青果売場である「青果コーナー」で販売しております。

当第1四半期累計期間は、スーパー等の取引先の旺盛なニーズに対応するため、引き続き、全国の産地や市場との連携により商品供給を強化し、既存取引先との取引拡大に伴いストックビジネス化が進展いたしました。

これにより、流通総額は530,471千円(前年同四半期比32.3%増)、売上高は523,874千円(前年同四半期比30.7%増)、セグメント利益は8,293千円(前年同四半期はセグメント損失5,176千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比べ134,726千円増加し、2,552,865千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べ96,789千円増加し、2,082,976千円となりました。これは主に現金及び預金の減少35,315千円、売掛金の増加110,774千円、商品の増加17,445千円、その他流動資産の増加4,550千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ37,936千円増加し、469,888千円となりました。これは主に有形固定資産の減少2,799千円、無形固定資産の減少5,149千円、投資その他の資産の増加45,885千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比べ105,575千円増加し、1,599,962千円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べ115,037千円増加し、1,307,539千円となりました。これは主に買掛金の増加90,590千円、短期借入金の減少4,998千円、1年内返済予定の長期借入金の減少4,998千円、未払金の増加8,632千円、未払法人税等の減少4,055千円、賞与引当金の増加19,369千円、その他流動負債の増加10,497千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べ9,462千円減少し、292,422千円となりました。これは主に長期借入金の減少9,267千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ29,150千円増加し、952,903千円となりました。これは主に利益剰余金の増加29,151千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年10月12日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

外部環境につきましては、食の安心・安全への生活者の意識は高い傾向が続いております。一方、スーパーマーケットにおける青果需要は、感染症の流行の終息による外食や旅行等の消費活動の活発化に伴う内食需要の低下や食料品やエネルギー価格の相次ぐ値上げ等による買い控えの影響で、低水準で推移しております。

このような環境のもと、当社の主たる事業である農家の直売所事業では、前事業年度に開設した集荷拠点や店舗が通年で寄与することに加え、スーパー等の取引先への営業活動の強化、エリア産直に対応した集荷場開設等の供給力の強化を進めてまいります。産直卸事業では、JA等の大型産地と連携し、既存取引先への営業を強化してまいります。スーパー以外の販路での販売エリアを拡大し、流通総額の拡大を図ってまいります。また、更なる物価の上昇や物流費の増加等も想定されることから、出荷手数料改定等の利益率向上施策にも引き続き取り組んでまいります。

以上により、2024年8月期の業績見通しにつきましては、流通総額14,000,000千円～15,000,000千円（前事業年度比4.8%～12.2%増）、営業利益50,000千円～100,000千円（前事業年度比36.9%～173.8%増）、経常利益50,000千円～100,000千円（前事業年度比7.0%～113.9%増）を見込んでおります。

下限シナリオにつきましては、都心部近郊の集荷拠点開設や生産者開拓が計画通り進まず、生産者委託の商品供給量が減少した場合を想定し、上限シナリオにつきましては、生産者委託の供給量が計画通りの場合を想定しております。

なお、売上高と当期純利益につきましては、会計処理の異なる委託販売や買取委託の構成比や繰延税金資産の計上等、合理的に見通すことが困難であるため、現時点では開示しておりません。今後開示が可能となった段階で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,074,469	1,039,153
売掛金	881,493	992,267
商品	15,964	33,409
その他	19,549	24,099
貸倒引当金	△5,288	△5,953
流動資産合計	1,986,186	2,082,976
固定資産		
有形固定資産	79,481	76,681
無形固定資産	117,288	112,139
投資その他の資産	235,182	281,067
固定資産合計	431,952	469,888
資産合計	2,418,139	2,552,865
負債の部		
流動負債		
買掛金	798,693	889,284
短期借入金	48,354	43,356
1年内返済予定の長期借入金	55,434	50,436
未払金	173,140	181,772
未払法人税等	5,531	1,476
賞与引当金	38,864	58,233
その他	72,484	82,981
流動負債合計	1,192,502	1,307,539
固定負債		
長期借入金	285,796	276,529
その他	16,088	15,893
固定負債合計	301,884	292,422
負債合計	1,494,387	1,599,962
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	849,128	849,128
利益剰余金	24,866	54,017
自己株式	△242	△243
株主資本合計	923,752	952,903
純資産合計	923,752	952,903
負債純資産合計	2,418,139	2,552,865

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	1,420,771	1,670,784
売上原価	648,103	855,303
売上総利益	772,667	815,481
販売費及び一般管理費	719,955	781,155
営業利益	52,712	34,326
営業外収益		
受取賃貸料	240	240
受取保険金	1,064	492
その他	672	274
営業外収益合計	1,976	1,006
営業外費用		
支払利息	703	577
その他	—	21
営業外費用合計	703	598
経常利益	53,985	34,733
特別利益		
関係会社株式売却益	—	10
特別利益合計	—	10
税引前四半期純利益	53,985	34,743
法人税、住民税及び事業税	15,153	1,478
法人税等調整額	△61	4,114
法人税等合計	15,091	5,592
四半期純利益	38,894	29,151

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 前第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

該当事項はありません。

2. 当第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	509,854	—	509,854	—	509,854
買取委託販売	445,392	—	445,392	—	445,392
卸販売	—	400,865	400,865	—	400,865
その他	64,659	—	64,659	—	64,659
顧客との契約から生じる収益	1,019,906	400,865	1,420,771	—	1,420,771
外部顧客への売上高	1,019,906	400,865	1,420,771	—	1,420,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,019,906	400,865	1,420,771	—	1,420,771
セグメント利益又は損失(△)	208,207	△5,176	203,030	△150,318	52,712

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△150,318千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用150,318千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	農家の直売所 事業	産直卸事業	計		
売上高					
委託販売システム	473,933	—	473,933	—	473,933
買取委託販売	612,294	—	612,294	—	612,294
卸販売	—	523,874	523,874	—	523,874
その他	60,682	—	60,682	—	60,682
顧客との契約から生じる収益	1,146,910	523,874	1,670,784	—	1,670,784
外部顧客への売上高	1,146,910	523,874	1,670,784	—	1,670,784
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,146,910	523,874	1,670,784	—	1,670,784
セグメント利益	175,059	8,293	183,352	△149,026	34,326

- (注) 1. セグメント利益の調整額△149,026千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用149,026千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。